

児童急増問題について議会で提言をし続けた結果、9月議会では、おたかの森小学校が開校1年にして増設、12月議会で学校新設の方向が示されました。児童が急増しているにもかかわらず、保育・教育環境の質が落ちないように先手を打って提言してまいります。

8歳と6歳 2児のママ

無所属
流山市市議会議員

近藤みほ通信

12月議会 一般質問報告

Vol.
7
2016.12 発行



討議資料

今回の議会では、半年以上悩んできた児童急増問題について、二度とこのような事態が発生しないよう、急増の構造・事態の重大性を公の場で共有した上で、打開策を求めました。

児童急増の構造は①～⑤の要因が重なった結果でシンプル。であるにも関わらず環境整備が後手になってる点を指摘

①広大な宅地用の土地が存在

②景観条例・街づくり条例・グリーンチェーン戦略・絶対高さ制限・開発事業の許可基準等、都市計画ツールの積極導入で良質な街づくりを推進

③効果的なプロモーションで子育て世代の誘致

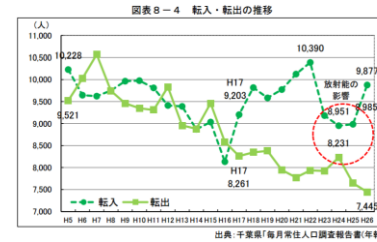
④平成23年 東日本大震災の影響で伸び悩んでいた人口が、流山市の真摯な対応により平成26年以降飛躍的な伸びに

⑤子育て世代に訴求力の高い政策の実施
1. 送迎保育ステーション
2. シンボリックな学校の建設
3. 保育園の拡充策

流山市の面積の1/5にもなる広大な土地区画整理事業が決まる



元気な市民の方々が流山市に



⇒人口の張り付き方によっては、子育て環境の質に影響が出る可能性もあるため、人口推計の点検・検証を盤石にすることを求めました。

流山市はつくばエクスプレス沿線と住宅を一体的に開発しており、その面積は市の1/5と広大です。自由な開発を認めれば乱開発になりかねないことから、流山市は都市計画ツールを積極導入し良質な住環境が整備される素地を作った上で(②)子育て世代を誘致する政策(③、⑤)を行ってきました。東日本大震災の影響で伸び悩んでいた人口(④)は平成26年以降飛躍的な伸びを記録。好材料が、皮肉にも局所的な児童急増となって現れました。

詳細はHPにて⇒ <http://mihokondoh.net>

打開策(近藤が提言、実現の方向に)

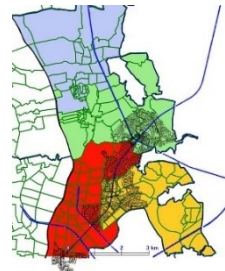
予期しない児童急増は校庭が狭くなったり、学童の質が落ちたり等、子どもにしわ寄せが行きがちです。住民誘致をする以上、環境整備が後手にならないよう、人口推計の点検・検証を盤石にすることを求めました。実現の方向です!



①児童推計は各課と連携を図りながら、教育委員会が責任を持つことを確認。住民が不安にならないよう誠実な情報発信を求めました。

② 住民基本台帳の情報を地理情報システムに連動させ、人口変動の大きい土地区画整理事業区域の人の張り付きを正確に把握し、機動的に対策が打てる体制づくりを求めました。実現の方向です。

その他、現在の4地域での分析では荒く、課題が埋もれてしまう問題を指摘。今後は学校区等でより詳細な現状分析を求めていきます。



議会からどんどん改善!

① 学童の質を守る!

昔は至る所に原っぱがあり、道も遊び場でした。テレビの普及により、遊び場は外から家の中へ、自動車の普及により、道は遊び場ではなくなりました。ある論文によれば都市化により遊びの空間は100分の1にも減ったとも言われます。

共働き世帯が増えている中、子どもの育ちを保証する学童の機能は重要です。静かに授業に集中しなければならない学校とは異なり、学童は自分のペースで自由にすごすくつろぎの場で、管理より尊重が求められます。しかし現在は、児童が多すぎてその機能を十分担保できていない施設もあるように感じます。よって児童急増の中にあっても、学童の質をより良いものにするため、学童事業者、学校、行政等で協議の上、ガイドラインを制定することを求めました。実現の方向です。

流山品質として誇れるものを作っただけけるよう期待しますし、私も知恵を出していきます。

「ざっくばらんに何でも聞いてみたい会」開催中

2~3人からの集まりに出張し、近藤が学んだこと、市に提言したこと、私の考えをお伝えします。また皆様との対話によって市に提言すべきことを考えていきます。議員は市民と行政のパイプ役。ワンストップ窓口係です。お気軽にご連絡ください。

相談&問い合わせ先: info@mihokondoh.net

② 議会からの提言で市の動きが加速! 学校整備を加速することが出来ました。

児童急増問題について6月議会で声をあげて以降、おおたかの森小中併設校の児童推計から、将来教室が不足することが判明したため、12教室の増築を決定、さらに今後は新設校も検討することになりました。子ども達の教育環境は適正規模でなければ質は落ちます。先手を打って環境整備を進めていけるよう、引き続き厳しくチェックしていきます。

【おおたかの森小中併設校の児童数と教室数・不足数】

	小学校		中学校		小中併設校全体	
	児童数	教室数(A)	生徒数	教室数(B)	合計教室数(A)+(B)	教室不足数
平成28年	856	26	302	10	36	
平成29年	1016	30	359	11	41	
平成30年	1272	38	436	13	51	1
平成31年	1603	47	534	16	63	13

※小学校の適正規模は12~18学級、31学級以上は過大規模校という

その他、市有地活用事業について



多額の市費を投じることなく、商業エリアに相応しい税負担の少ない適正規模の実現策をひねり出したと評価しました。詳細はHPへ



【近藤みほ略歴】

茨城県潮来市生まれ。東京都立大学大学院 建築学卒。2児(8歳と6歳)の母。大学時代にコンピューターの面白さに出会い、都内のITエンジニアリングコンサル会社に就職。本格的に働き始めたら地域にお世話になるからと、第二子の育児休業中にボランティアに従事。地域には様々な課題があることを知り、本腰をいれて向き合いたいと立候補。H27年5月流山市議会初当選。



討議資料

11/12



教育福祉委員会で議会報告会を開催。テーマは「南部地域の小学生児童の課題提起」でした。28人の市民の方々が参加されました。12月議会では、頂いたご要望ご意見を元に、委員会から市に積極的な提言が行われました。改善する兆しです!

12/12



未来に繋がる放課後を考えるシンポジウムに参加。民間学童、サドベリースクール、公立学童等、様々な立場の方から放課後の居場所の理想を伺うことが出来ました。

12/3



おおたかの森安心安全まちづくり協議会主催の防災フェアに参加。地元の皆様と顔の見える関係が何より大切と再認識!

孤育て環境をつくらない!

12/20



Nipponニューボラネットワークのニューボラ伝道師榊原先生に流山市の子育て環境に関してアドバイスをいただきました。切れ目のない子育て支援体制を構築できるよう全力を尽くします。ニューボラの詳細は順次HPで紹介していきます。

2月予定



市民と議員の条例づくり交流会議のパネラーとして報告した内容が好評を得、自治体学に論文を寄稿することになりました。頑張ります!

【番外編】直売野菜が美味しい

近くの直売所では地元新鮮野菜を購入することができます。市場を経由しないので、採れたて新鮮!大根を購入しサラダにしてみましたがとても甘い!お勧めです。



太い大根



大根サラダ

